

鳥越正美 (公明党)

騎馬警察隊について

馬による今後のさらなる観光推進、特に、騎馬警察隊またはそれに代わる構想について伺いたい。

答弁 観光を目的とした騎馬警察隊の設置については、その設置を青森県警察本部へ要望しても実現性は低いと考えているが、騎馬警察隊をイメージした仮装による隊列、馬車の運行など、演出による実現は検討の余地があり、可能性もあると思われる。これらの企画は、まちづくりや観光振興の面でも注目度のある取り組みと考えられるので、十和田乗馬倶楽部と協議して実現化を検討していきたい。

また、駒フェスタなどの馬にこだわった当市のイベントに、警視庁騎馬隊が無料出張出演してくれるか確認したい。

市民税課税、非課税での負担について

質問 市民税非課税世帯が課税世帯に変わることによる負担増について伺いたい。

答弁 介護サービス利用者に対する給付費については、高額介護サービス費の上限額が二万二千二百円増、特定入所者介護サービス費の食費負担が日額二百六十円増、高額医療公算介護サービス費の上限額が二十五万円増となる。支給事業等については、家族介護用品支給事業、家族介護慰労金事業、緊急通報装置助成金事業が受けられなくなる。保育料については、最大で月額一万四千九百円増となる。障害者自立支援法における利用者負担の月額上限額が、障害福祉サービスは最大七千八百円、自立支援医療費は七千五百円、補装具地域生活支援事業は二万二千二百円増となる。また、重度心身障害者医療費助成事業では、負担なしから一割負担に変わる。国民健康保険及び後期高齢者医療制度では、高額療養費支給制度の自己負担限度額が、高額所得者を除く一般的な例で、国民健康保険では四万四千七百円増、また、国民健康保険の七十歳以上及び後期高齢者医療制度では、入院の例で一萬九千八百円増となる。

今泉勝博 (市政・市民クラブ)

高森山総合運動公園整備事業について

質問 高森山総合運動公園整備事業の平成二十二年以降の事業は凍結と聞くが、凍結の理由を伺いたい。

答弁 高森山総合運動公園整備事業は、平成三年五月の都市計画決定を受けてから、用地取得、アクセス道路の整備、用地造成などを進めてきた。この間に計画の見直しを行いながら、平成十七年一月に事業計画変更認可を受け、現在の許可区域三十一・四ヘクタールに縮小し、整備を進めてきた。

現在は管理棟、天然芝サッカー場、スタンド棟の建設を行っており、今年度をもって供用開始のめどが立ったこと、市の財政状況等を総合的に判断して、平成二十一年度をもって終了することとした。



四和地区学校統合について

質問 四和地区小中学校統廃合について、今後のスケジュール等を伺いたい。

答弁 今後のスケジュールは、平成二十一年度は地域懇談会の開催、建設基本構想策定、平成二十二年度は条例改正、開校準備委員会の設置、平成二十四年度は三小学校閉校、平成二十五年度は新学校の開校、平成二十六年度は落成記念式典の開催、グラウンド等全設備の整備完了となっていく。

また、三つの小学校が統合することにより、子供たちにもさまざまな不安があると思われるが、その不安を取り除くためにも行事、授業等を三校が一緒に行うようなことも実施していきたい。



現在の四和中学校

堰野端展雄 (高志会)

北里大学との連携事業について

質問 北里大学との連携事業の実績と今後の見通しについて伺いたい。

答弁 十和田湖和牛ブランド化推進事業を実施しており、これまでの事業効果として、肉質等級A四以上の上物率が平成十八年度の五八%から、平成二十年度は七〇%へと十二ポイント上昇している。また、現在、農医連携の一環として、当市の安全、安心で良質な農産物を北里大病院の給食の食材として提供するよう取り組みを進めているほか、市民大学講座の講師や市民を対象とした北里大学公開講座の開催など、生涯学習の分野でも連携が図られている。

スクールバスについて

質問 スクールバスの運行について、住民からバス利用ができないとの苦情があるが、基準を見直す考えについて伺いたい。

答弁 現在のスクールバスの運行状況は、市保有のバス、委託バス、合わせて十二台で運行しているが、利用者は小学校四校で二十六名、中学校五校で三百五十名となっている。運行基準は、小学校では四キロメートル以上、中学校では六キロメートル以上としている。今のところ運行基準を見直す考えはないが、保護者の要望や利用状況等を勘案しながら対応していきたい。

駒のレンタルについて

質問 駒のレンタルについてお土産販売、ペット入苑、ドッグヤード設置の考えについて伺いたい。

答弁 お土産販売については、多くの利用者から要望があり、利用者への一層のサービス向上になることから、来春から販売予定である。伴侶動物の入苑についても多くの要望があり、来春から入苑を許可する方向で協議を進めており、また、ドッグヤードも開設予定である。

